

令和6年度（2024年度）「OPEN！みんなで話そう！やまさき市長とともに」においての市民からの声（提案・意見等）への対応状況

							令和7年10月末時点			
年度	日時	テーマ	担当課	No.	市民からの声 (意見・提案等)	当時の回答内容 (課題、問題点、今後の方針)	回答担当課	対応状況 (ブルダウンより選択)	これまでの取組内容	今後の方針等
令和6年度 (2024年度)	10月5日	みんなでつくる 文化芸術のまち宝塚	文化政策課	1	不登校児童は家にいることが多い。市内には音楽家や舞台関係者の方がいらっしゃるとのことだったので、教えてもらえる機会や外に出るきっかけとなる文化芸術のイベントがあれば嬉しいと思う。	令和5年度に不登校児童等を対象にして宝塚歌劇の市民貸切公演を予定していたが、公演が中止になってしまったため、改めて実施したいと思っている。また、東京都の文化芸術施設を視察した際に、絵具を自由に投げながら絵を描く方にお会いして、不登校児童や養護学校の生徒に向けたワークショップをしているとおっしゃっていた。技術を持っていなくても楽しめる、楽しめたらまた行ってみようと少しずつ外に出るきっかけになる。このような文化芸術で不登校児童が外に出ていけるようになればと検討している。	文化政策課	済	市内在住・在学の小中高生を対象とした市民貸切公演を実施します。また、不登校児童に限らず、障害のある方や高齢者など、様々な理由で文化施設を訪れることのできない人たちに対して、文化芸術に触れることができるよう、養護学校へのアウトリーチ活動や「みんなのディスコ」の開催など、様々な取組を行っています。	今後も継続して社会包摂の取組を実施していきます。
				2	市内のイベントの日程が重なってしまうと行きたいイベントに行けないことがある。また、イベントの情報発信をしても市民全員に届かない。分野別にソートをかけた市内で行われるイベントの一覧を用意してほしい。	現在、広報担当課でイベントカレンダーを活用した新たな試みを検討している。イベントを知ってもらい、イベント日程が重なることが減るように「ともに発信する」を実現したいと思う。	広報課	未済	現行ホームページでは日程やカテゴリで検索することはできるが、文字情報が多く視認性がよくなかったため、令和8年12月のリニューアルに伴い見やすく探しやすいデザインに変更する予定。	令和8年12月のリニューアルに向け作業中。画像からイベント内容が想起できるようなデザインに変更するとともに、カテゴリ検索でより検索しやすいよう項目を見直す。
				3	小学校の授業でも短歌の学習をしている。小学生を巻き込んで短歌の文化を宝塚市で広めることが出来れば風流、情緒のある子どもが育つのではないかと思う。短歌を学べる場所ができたり、学校にも提案できたらいいと思う。	子どもたちが経験を通して、自分自身の将来や心の拠り所が見つかっていくと思うので、短歌も取り入れた取り組みを行っていききたいと思う。	学校教育課	未済	以前より取り組んでいる俳句の学習を充実させている。年に一度「ことばの祭典」開催し、その中で市内小中学校で募集した俳句の表彰や審査を行っている。昨年度よりWEB投句（俳句？）も実施し、多くの児童生徒が作品を応募している。その取り組みの中で受賞した作品が多くの児童生徒や市民の方々にも見ていただけるように、1か月に2度各校に通信を発出したり、逆瀬川の駅や市内図書館に掲示したりしている。	更に多くの児童生徒が参加できるように、また取り組みが継続できるように計画している。
				4	文化芸術センターの目指す姿というのがとても高い設定になっている。目標は変えてもいいのではないかとと思っている。	時代の変化に伴って文化芸術センターの目的も変わってくるとしている。人の考えや思いが変わっていったときには文化芸術センターの新しい使われ方が見いだされるかもしれない。市民や利用者の皆様にご意見をいただきながら検討したい。	文化政策課	未済	目標は変更していませんが、より市民や利用者の皆様に身近に感じていただけるよう愛称募集や市民参加型イベントなど、様々な取組を行いました。	市民や利用者の皆様にご意見をいただきながら検討していきます。
				5	宝塚市には多くの絵画教室があって、絵を描かれている方が多い。しかし、発表の場があまりない。発表できる場が安価で用意されていたら嬉しいと思う。	気軽に見ていただき、ふれあいが生まれるような取組を今後も行っていきたいと考えている。	文化政策課	済	国際文化センターのギャラリーは、市民等一般の方向けのギャラリーで、文化芸術センターのギャラリーよりも安価で手軽に使用することができる。また、宝塚市展は、今年で67回目の開催となる市民公募型の展示会であり、一般の方が手軽に応募できる。	多くの市民が文化芸術に親しめる環境づくりに努めるとともに、市民の主体的な文化芸術活動へつなげる取組や仕組みづくりを進める。